

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 15 日作成

1 現状把握(DQ)

1 既存把握(BC) (1) 事務事業の目的と指標

(1) 活動	
24年度活動実績	大嵐のビャクシン樹勢回復及び倒木回避(総事業費の50%県 25%市 が補助)
25年度活動予定	
(2) 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
県指定天然記念物「大嵐のビャクシン」	
(3) 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
地域の象徴として古来から守り伝えられてきた天然記念物を次代へ引き継ぐことが出来る	
(4) 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域の歴史や自然を守る心の醸成	

(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 支柱設置数	本
イ	
ウ	
(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 県指定天然記念物	本
イ	
ウ	
(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 合併後木が樹勢を保った年数	年
イ	
ウ	
(8) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 文化財伝統芸能の保護や継承の市民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円						
		事業費計 (A)	千円	0	56	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間						
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	56	0	0	0	0
活動指標		ア イ ウ	本		1.0				
対象指標		ア イ ウ	本		1.0				
成果指標		ア イ ウ	年		9.0				
上位成果指標		ア イ	%		38.0				

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成23年管理者大嵐区よりビャクシンの育成が良くないと連絡があり、県担当者と樹木医、市担当と現地確認を行った。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	環境の変化等
③ 事務事業に対する関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地元の象徴として絶やしてはいけない

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?		<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)		2ヶ月に一度、現地の状況確認
③ H 24年度に実施した改革改善の内容		

事務事業名	『H24新規』大嵐のビャクシン樹勢回復及び倒木回避支援事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	-------------------------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか?意図が上位目的に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財は地域文化振興の素材となる
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 行政として指定した以上支援しなければならない 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内にある県指定文化財を保護保存していくかなければならないので妥当
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか?できない場合は何が原因でできないのか?	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 樹木医の診断のもと事業を行っている
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか?	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止することはできるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 樹勢の維持が出来ない、消滅してしまう <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 回復事業が出来れば保護できる
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 樹木医の診断のもと事業を行っている
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか?(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 所有者からの申請、実績報告の確認提出、県への進達など、書類上の最低限の事務が主であり削減の余地はない
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担を見直す必要はないか?公平公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 県指定文化財であり、市民共有の財産であるので公平である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	年々、老朽化していくビャクシンを維持していくためには、地元住民の支援や協力が必要。 後生に残していく気持ちと市の貴重な財産という誇りに思う気持ちを育んでいきたい。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果)	
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)	
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	
(2) 改革改善案について	
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果
	成果優先度評価結果
	コスト削減優先度評価結果